

# さいたま市公民館運営審議会第4回会議 議事録

## 1 開催日時

令和2年11月24日（火） 午前10時00分から11時30分まで

## 2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

## 3 出席者

〈委員：9名〉

- ① 山中 冴子 委員長
- ② 加藤 美幸 副委員長
- ③ 石田 玲子 委員
- ④ 今川 夏如 委員
- ⑤ 島田 正次 委員
- ⑥ 寺田 道子 委員
- ⑦ 堀杉 幸子 委員
- ⑧ 松岡 進 委員
- ⑨ 山崎 秀雄 委員

〈拠点公民館職員：9名〉

- |       |          |        |
|-------|----------|--------|
| ① 西区  | 指扇公民館長   | 芳賀 善久  |
| ② 北区  | 大砂土公民館長  | 山本 修一  |
| ③ 大宮区 | 桜木公民館長   | 桑原 健司  |
| ④ 見沼区 | 大砂土東公民館長 | 柳 潤子   |
| ⑤ 中央区 | 鈴谷公民館長   | 掛川 雅世  |
| ⑥ 桜区  | 田島公民館長   | 内ヶ嶋 直哉 |
| ⑦ 浦和区 | 岸町公民館長   | 星野 務   |
| ⑧ 南区  | 文蔵公民館長   | 押田 龍彦  |
| ⑨ 緑区  | 大古里公民館長  | 島村 光一  |

〈事務局：5名〉

生涯学習総合センター

- |                 |        |
|-----------------|--------|
| ① 館長            | 吉田 治士  |
| ② 参事兼副館長        | 中村 和哉  |
| ③ 主幹兼事業・企画係長    | 有江 良修  |
| ④ 事業・企画係社会教育指導員 | 伏見 浩美  |
| ⑤ 事業・企画係社会教育指導員 | 松本 みはる |

4 欠席者名

〈委員：3名〉

- ① 内河 水穂子 委員 ② 金今 義則 委員 ③ 久保木 央 委員

〈拠点公民館長：1名〉

- ① 岩槻本丸公民館長 大野 浩

5 議題等

- ・公民館に対する障害者のニーズについて
- ・さいたま市公民館ビジョンについて
- ・さいたま市優良公民館表彰について

6 配布資料

- (1) さいたま市公民館運営審議会第4回会議次第
- (2) さいたま市公民館運営審議会第4回会議名簿
- (3) さいたま市公民館運営審議会第4回会議席次表
- (4) さいたま市公民館運営審議会第3回会議議事録（案）
- (5) みんなの風福社会パンフレット
- (6) みんなの風福社会会報
- (7) みんなの風福社会沿革に関する資料
- (8) さいたま市公民館ビジョン検討状況について
- (9) さいたま市公民館ビジョン策定に係る進捗状況について
- (10) 令和2年度公民館要覧

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 会議

会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 審議内容

- ・議題「公民館に対する障害者のニーズについて」特定非営利活動法人みんなの風福社会理事長 中谷氏より説明をした。

松岡委員	諮問事項が「障害者の生涯学習を推進する公民館事業のあり方について」なので、特定非営利活動法人みんなの風福社会として、近くの公民館と連携している活動等はあるか、また、公民館に対する障害者のニーズについて伺いたい。
中谷氏	鈴谷公民館・与野本町公民館・大久保東公民館の部屋を利用して調理実習やバラ

	ンスボールを使った運動等をしている。その他にも、コミュニティセンターも利用している。ニーズとしてはみんなの風福社会以外の人々と交流できる場がほしい。
加藤副委員長	児童生徒の場合は放課後デイサービス等が充実しているが、年齢を重ねた障害者の場合は施設以外の居場所が少ないため、公民館が事業としてカフェや農業、できたものを活用したフラワーアレンジメント教室等を実施して、健常者との交流を図ってもいいと思う。また、みんなの風福社会に在籍している障害者の年齢層と中谷氏がこれから新設する施設のことについて知りたい。
中谷氏	障害者就労支援をしている施設については18歳～73歳の方が在籍している。また、新施設については農業をテーマに、例えば学校給食のジャガイモを育てる等をしよと考えている。
寺田委員	第3回審議会において各区の障害者の生涯学習に関する事例報告をしてもらい、事業の種別としては、障害者を対象とした事業や障害者と健常者の両方を対象とした事業があったが、障害には種別が様々あるため、障害者が参加しやすい方に参加できればいいと思う。また、区役所等では障害者による販売コーナーが設けられているが、そのような場所がさらに増えると良いと感じた。
山中委員長	公民館で実施している障害者に関する事業に参加した人の話を聞いたことはあるか。
中谷氏	あまりないが、公民館祭りに組織として参加したことはあった。
石田委員	障害者と健常者が一緒になって料理をする等、そのような事業を公民館が実施していけると良いと思う。ただ、公民館職員のみによる運営は難しいため、補助者を入れて事業を実施していければ良いと思う。
山中委員長	公民館と障害者施設との連携が重要である。公民館に対するニーズが他にもあれば伺いたい。
中谷氏	事業を実施する上で、障害についての専門家が公民館には必要だと思う。そのような方がいることにより、他の利用者も安心できる。
山中委員長	公民館としては、障害に対する視点を豊かにしていけると良いと思う。
今川委員	障害者との接点が少ない中で、いかに一人一人の感じ方の違いに寄り添っていかるといいう意味でも専門家がやはり必要である。地域としてどのように繋がっていくか、障害者施設の取組をもっと多くの人に知ってもらうために公民館として何ができるかを考えていかなければならない。障害者の賃金が上げるような取組も重要である。
山中委員長	障害者施設による地域に向けての努力の積み重ねを公民館としてどのようにバックアップしていけるかが重要である。
山崎委員	障害者の地元での時間を公民館にどのように繋げるか考える必要がある。地元おける地域の活動・公民館における活動に参加できると良いと思う。また、障害者の情報は地域に知ってもらうべきなのかどうか意見を伺いたい。
中谷氏	災害時の避難等で障害者の情報の共有については、みんなの風福社会の会議で提案してみたいと思う。

吉田館長	公民館においてできることとできないことはあるが、専門家に補助をしてもらいながら事業を実施する等、そういったことは可能であるので、そのようなことも含め、公民館として何ができるのかさらに考えていきたい。
------	---

11 その他

さいたま市公民館ビジョン及びさいたま市優良公民館表彰について説明と報告をし、次回は、令和3年1月26日（火）午前10時00分より生涯学習総合センター10階多目的ホールにて開催予定であることを確認した。

12 閉会